

PRIMEQUEST 2000 シリーズ

Dual Channel LAN カード(10GBASE)

Dual Channel LAN カード(10GBASE-T)

ソフトウェアインストールガイド v11.1.172.22

RHEL 7.1 / RHEL 7.2 / RHEL7.3 ドライバ、OCManager

NIC : v11.1.172.21.4

OneCommand Manager : v11.1.172.24-1



■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
Red Hat Enterprise Linux 7.1 (for Intel64)	RHEL 7.1
Red Hat Enterprise Linux 7.2 (for Intel64)	RHEL 7.2
Red Hat Enterprise Linux 7.3 (for Intel64)	RHEL 7.3
Dual Channel LAN カード(10GBASE)	LAN カード
Dual Channel LAN カード(10GBASE-T)	LAN カード
OneCommand Manager	OCManager
OneCommand NIC Teaming and VLAN Manager	NIC Teaming and VLAN Manager
Network Interface Card	NIC
Universal Multi-channel	UMC

■ 商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

目次

1. 概要.....	1
1.1. ドライバ、およびツールについて	1
2. インストール手順	2
2.1. ドライバインストール手順.....	2
2.2. OCManager インストール手順	4
3. ドライババージョンの確認.....	7
3.1. NIC ドライバ	7
3.2. OCManager	8
4. Firmware / Adapter BIOS Version の確認.....	9
4.1. OCManager.....	9
5. NIC チーミングの設定.....	10
6. OCManager／ドライバのアンインストール	11
6.1 OCManager.....	11
7.1. NIC ドライバ.....	11

1. 概要



- 1) 本ソフトは、PRIMEQUEST 2000 シリーズに搭載された以下の Dual Channel LAN カードに対して使用可能です。その他の LAN カードに対しては使用しないでください。
 - (1) Dual Channel LAN カード(10GBASE)(MC*0JXE61)
 - (2) Dual Channel LAN カード(10GBASE-T)(MC*0JXE71)
- 2) 本ソフトを使用する場合、ファームウェアは以下表の版数が適用されている必要があります。4 章を参照して、ファームウェア版数を確認してください。

アダプタ種類	ファームウェア版数
Dual Channel LAN カード(10GBASE)(MC*0JXE61)	11.1.172.23
Dual Channel LAN カード(10GBASE-T)(MC*0JXE71)	11.1.172.23

また、本ソフトをインストールする環境に、以下のコンバージド・ネットワーク・アダプタが搭載されている場合は、これらのドライバ/ファームウェアの更新が必要になります。詳細は下記 URL から該当手順書を入手し参照ください。

- (1) デュアルチャネル コンバージド・ネットワーク・アダプタ(MC-0JCE6*)
- (2) シングルチャネル コンバージド・ネットワーク・アダプタ(MC-0JCE9*)

ファームウェアが古い版数の場合は、下記 URL よりファームウェアを入手し、アップデートしてください。

http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/download/2000/bios_peripheral.html

1.1. ドライバ、およびツールについて

本ドライバは、Dual Channel LAN カードのドライバおよびツールで構成されます。

◆ドライバ

1 NIC ドライバ be2net

◆OCManager

【注意】

- ・本ガイドに記載のある機器をご使用の際は、ドライバ、およびツールを適用してください。
- ・リモートデスクトップを利用してクライアントからのドライバ削除や更新は実施しないでください。
- ・カーネルアップデート後のドライバインストールは、再起動せずアップデート直後に本ガイドに沿ってインストールを行ってください。

2. インストール手順



- 1) ドライバとツールのインストールは管理者権限で行ってください。

2.1. ドライバインストール手順

※ドライバインストール手順は、RHEL7.1, RHEL7.2, RHEL7.3 で共通です。

1. 下記の URL から、ドライバをダウンロードします。
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/download/2000/#livm_fc
2. ダウンロードしたファイルを解凍すると、RHEL7.1/RHEL7.2/RHEL7.3 それぞれのフォルダが作成されますので、ご使用の OS に合った方のフォルダ内の iso ファイルを、サーバ上の任意のディレクトリにコピーしてください。

[RHEL7.1]

- 1) Avago-11.1.172.22-0-000.x86_64.iso

[RHEL7.2]

- 1) Avago-11.1.172.22-0-000.x86_64.iso

[RHEL7.3]

- 1) Avago-11.1.172.22-0-002.x86_64.iso

【注意】

必ず、ご使用の OS に合った iso ファイルを適用してください。

2.1.1. NICドライバのインストール

※RHEL 7.1 の例を以下に説明します。RHEL7.2/RHEL7.3 の場合は iso ファイルを読替えてください。

1. サーバ上にコピーした iso ファイルをマウントします。
(以下の例では、/mnt にマウントしています)

```
[root@localhost Temp]# mount -ro loop Avago-11.1.172.22-0-002.x86_64.iso /mnt
```

2. /mnt 配下の dud.repo を/etc/yum.repos.d/にコピーします。

```
[root@localhost Temp]# cp /mnt/dud.repo /etc/yum.repos.d/
```

既に、dud.repo が存在する場合は、下記のメッセージが表示されますので、上書きします。

```
cp: '/etc/yum.repos.d/dud.repo' を上書きしますか? ←yを入力
```

3. コピーした dud.repo ファイルの下記部分に、iso をマウントしたポイントを記述して保存します。

```
baseurl = file:///<INSERT_MOUNT_POINT_HERE>/rpms/x86_64
```

<例>

```
baseurl = file:///mnt/rpms/x86_64
```

4. 以下のコマンドを実行し、画面の指示に従ってインストールを行います。
既に、パッケージがインストール済みの場合は 5 項にスキップしてください。

```
[root@localhost ~]# yum install --nogpgcheck primergy-dup
```

:

```
インストール:
  primergy-dup.noarch 0:7.2-3
```

```
完了しました!
[root@localhost ~]#
```

5. 続けて、次のコマンドを実行し、画面の指示に従ってインストールを行います。

```
[root@localhost ~]# yum install --nogpgcheck kmod-be2net
```

:

```
総ダウンロード容量: xxx k
Is this OK [y/d/N]: y
```

```
完了しました!
[root@localhost ~]#
```

6. /mnt ディレクトリをアンマウントします。

```
[root@localhost ~]# umount /mnt/
```

7. ドライバのインストールは以上で終了です。システムを再起動します。

```
[root@localhost ~]# reboot
```

2.2. OCManger インストール手順

1. 下記の URL から、OCManager をダウンロードします。
http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/download/2000/#livm_fc
2. ダウンロードしたファイルをサーバ上のディレクトリにコピーし、解凍します。
(以下の例は、/Temp にファイルをコピーしています)

コピーするファイルは下記です。
elxocm-rhel6-rhel7-11.1.172.24-1.tgz

下記コマンドで、解凍します。

```
[root@localhost Temp]# tar zxvf elxocm-rhel6-rhel7-11.1.172.24-1.tgz
```

3. ファイルを解凍すると elxocm-rhel6-rhel7-11.1.172.24-1 ディレクトリが作成されます。
作成されたディレクトリに移動し、以下のコマンドを実行してください。

```
[root@localhost elxocm-rhel6-rhel7-11.1.172.24-1]# ./install.sh
```

```
-----
Do you want to enable Secure Management feature for OneCommand? (s/u)
```

The secure management feature requires OneCommand groups be configured on the LDAP network or the local host machine to provide for OneCommand operation.

Enter 's' to select secure management. (LDAP/NIS OCM group configuration required)
Enter 'u' to run without secure management (default).

Enter the letter 's' or 'u':

※上記の選択に対しては、**u**を入力してください。

You selected: Secure Management Disabled

```
-----
Select desired mode of operation for OneCommand Manager
```

- | | | |
|---|-------------------------|--|
| 1 | Stricly Local Managment | : Only manage the adapter on this host.
Management of adapters on this host from other hosts is not allowed. |
| 2 | Local Management Plus | : Only manage the adapters on this host.
Manage the adapters on this host and other hosts is allowed. |
| 3 | Full Management | : Management of adapters on this host from other host that allow it. Managemnt of the adapters on this host from another host is allowd. |
| 4 | Management Host | : Manage the adapters on this host and hosts that allow it. Management of the adapters on this host from another host is not allowd. |

Enter the number 1, 2, 3 or 4:

※上記の選択に対しては、'2'を入力してください。

You selected: 'Managed-only Mode'

Do you want to enable TCP/IP Management from remote hosts. (Y/N)

Enter 'y' enable TCP/IP remote management (default)
Enter 'n' Disable TCP/IP remote management (default)

Enter the Letter 'y' or 'n'

※上記の選択に対しては、'n'を入力してください。

You selected: disable TCP/IP remote management

Would you like to enable configuration features for OneCommand Manager clients this platform?

Enter y to allow configuration. (default)
Enter n for read-only mode.

Enter the Letter 'y' or 'n'

※上記の選択に対しては、'y'を入力してください。

Do you want to allow user to change management mode using set_operating_mode script located in /usr/sbin/ocmanager ?

Enter the letter 'y' if yes, or 'n' if no

※上記の選択に対しては、'n'を入力してください。

You selected: Yes, enable configuration

Do you want to allow user to change management mode using set_operating_mode script located in /usr/sbin/ocmanager ?

Enter the letter 'y' if yes, or 'n' if no:

※上記の選択に対しては、'n'を入力してください。

You selected: No

OneCommand Manager Enterprise Kit install completed successfully.

Type: /usr/sbin/ocmanager/ocmanager
to run the OneCommand Manager GUI client.

OneCommand Manager Enterprise Kit install completed successfully.

[root@localhost elxocm-rhel6-rhel7-11.1.172.24-1]#

以上、OCManager のインストールは完了です。

OCManager を起動するには、`/usr/sbin/ocmanager/ocmanager` を実行してください。

POINT

- OCManager をアンインストールする場合、`elxocm-rhel6-rhel7-11.1.172.24-1` ディレクトリのファイルを使用しますので、ファイルを削除しないでください。

3. ドライババージョンの確認

ドライババージョンの確認方法について説明します。

3.1. NICドライバ

1. 以下のコマンドを実行します。

```
[root@localhost ~]# modinfo be2net | grep version  
version:      11.1.172.21.4fts  
rhelversion:  7.1  
srcversion:    D3462AC5182C4AEAE1E2586  
vermagic:      3.10.0-229.el7.x86_64 SMP mod_unload modversions
```

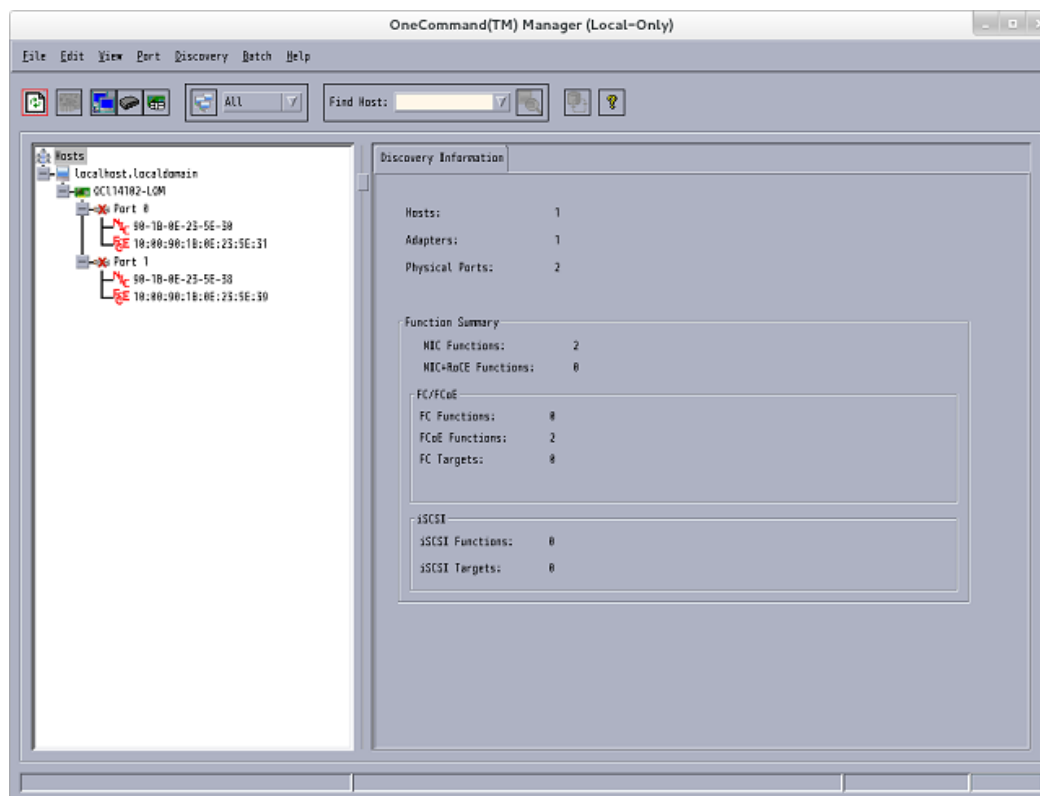
1. ドライバのバージョンが、ご使用の OS に合っているか確認します。
 - ・RHEL7.1 の場合、「version」が 11.1.172.21.4 と表示されている事を確認します。
11.1.172.21.4 でない場合は、ドライバのアンインストールを実施した後に、再度ドライバをインストールしてください。
 - ・RHEL7.2/RHEL7.3 も同様に、「version」が 11.1.172.21.4 と表示されている事を確認します。
11.1.172.21.4 でない場合は、ドライバのアンインストールを実施した後に、再度ドライバをインストールしてください。

3.2. OCManager

1. 以下のコマンドで、OCManager を起動します。

```
[root@localhost ~]# /usr/sbin/ocmanager/ocmanager
```

2. Help タブから、「About OneCommand™ Manager」を選択し、OCManager 版数を確認します。



3. 下線部分が、11.1.172.24 と表示されていれば問題ありません。表示が異なる場合は OCManager のアンインストールを実施した後に、再度 OCManager をインストールしてください。(以下の画面は表示例です。)



4. Firmware / Adapter BIOS Version の確認

OCManager より Firmware の確認が可能です。

4.1. OCManager

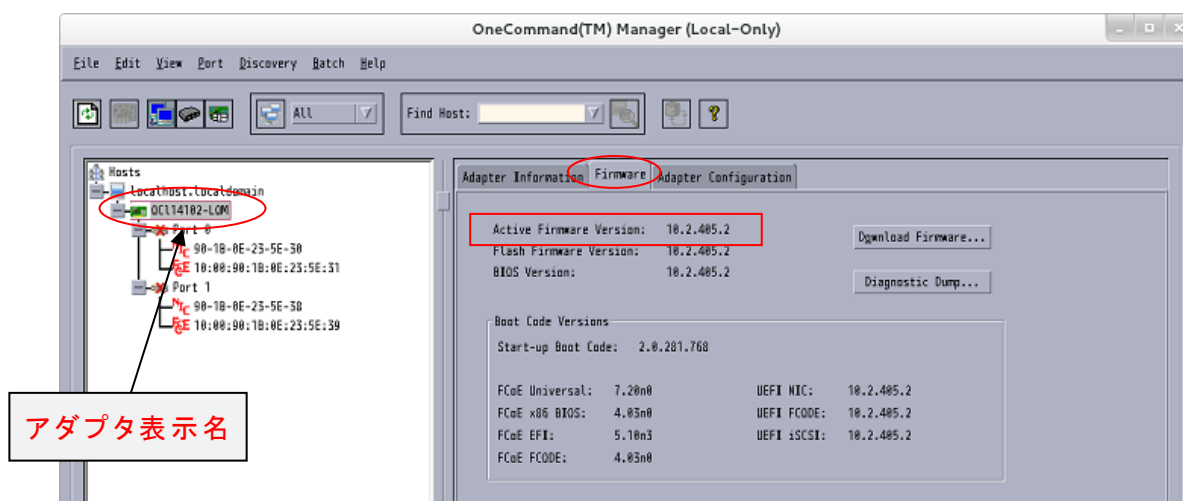
OCManager で表示される名称は、次のとおりです。

アダプタ種類	アダプタ表示名称	ファームウェア版数
Dual Channel LAN カード(10GBASE)(MC*0JXE61)	OCe14102-NX	11.1.172.23
Dual Channel LAN カード(10GBASE-T)(MC*0JXE71)	OCe14102B-NT	11.1.172.23

1. OCManager を起動します。

```
[root@localhost ~]# /usr/sbin/ocmanager/ocmanager
```

2. 対象のアダプタを選択し「Firmware」タブをクリックします。
(下図は、表示例です。Active Firmware Version は読替えてください。)



※OCManager の版数によっては、表示画面が上記と異なる場合がありますので読み替えてください。

3. 「Active Firmware Version」値が 11.1.172.23 であることを確認します。

5. NIC チーミングの設定

OS 標準 NIC チーミングツールを使用してください。

6. OCManager／ドライバのアンインストール



- 1) ドライバとツールのアンインストールは管理者権限で行ってください。

6.1 OCManager

1. OCManager インストール時に解凍したフォルダに移動し、下記コマンドを実行します。

```
[root@localhost elxocm-rhel6-rhel7-11.1.172.24-1]# ./uninstall.sh
```

:

OneCommand Manager Enterprise Kit un-installation completed successfully.

```
[root@localhost elxocm-rhel6-rhel7-11.1.172.24-1]#
```

7.1. NICドライバ

1. 以下のコマンドを実行し、画面の指示に従ってアンインストールを行います。

```
[root@localhost ~]# yum remove kmod-be2net
```

:

削除しました:

kmod-be2net-11.1.172.21.4fts-1.el7.1.x86_64

完了しました!

```
[root@localhost ~]#
```

2. システムを再起動します。

```
[root@localhost ~]# reboot
```

3. システム再起動後、3 章を参照して、ドライババージョンが変更された事を確認します。

Dual Channel LAN カード(10GBASE)
Dual Channel LAN カード(10GBASE-T)
ソフトウェアインストールガイド v11.1.172.22
RHEL 7.1 / RHEL 7.2 / RHEL7.3 ドライバ、OCManager

CA92344-1613-01

発 行 日 2017 年 01 月

発行責任 富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。